

学会委員会

委員長：西原 望

1. 活動方針および活動目標

看護職の実践に根ざした学術研究の振興を通じて看護の質の向上を図り、大阪府民の健康と福祉に貢献することを目的に、臨床看護実践・看護教育・看護管理などの看護に関する内容を発表する場となるよう、第12回大阪府看護学会の企画・運営を行う。

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日	委員
定例委員会 【ナースिंग アート大阪】	1) 第12回大阪府看護学会の企画・抄録査読・優秀演題候補 演題の推薦・運営・評価 2) 次年度の第13回大阪府看護学会の企画	全12回	16名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日	参加者
第12回大阪府 看護学会 【ナースिंग アート大阪 ＋ WEB】	テーマ：#健康社会 24 ～看護の力でキラめく未来へ～ 特別講演「自己表現と自信の醸成～キラめく未来へ～」 講師：松竹芸能株式会社 サマンサ・アナンサ氏 教育講演「働く看護職のヘルスケアデザイン ～キラめく未来へつながるように～」 講師：武蔵野大学 ウェルビーイング学部 秋山美紀氏 交流集会①「人財確保への対策 新しい働き方の工夫と人材活用」 企画：大阪府看護協会 事業部労働環境支援グループ 交流集会②「2040 年に向けて看護職の人手不足を どうやって解消していきますか ～ワールドカフェで未来を話そう～」 企画：医療法人健栄会三康病院グループ 磯川薫氏 交流集会③「職場にワクワクはありますか」 企画：大阪府看護協会 学会委員 一般演題 95 題(口演 72 示説 23) 最優秀賞 1 題表彰 企業展示：16社、大学大学院紹介：5 校、 ランチョンセミナー：4 社、走るデパ地下：1 台、 パン販売を実施(バナー広告) 企業：1 社、大学大学院：3 校	会場開催 12月7日(土) 9:30～ 16:30 オンデマンド 配信 12月16日(月) ～ 1月14日(火)	会場参加 508名 WEB参加 227名 参加者 計735名 (うち学生 3名) 関係者含めた 総参加者数 913名 アクセス 累計 2,421件

【活動の概要】

大阪府看護学会は会場＋WEB 開催とし看護職の健康と未来を願い「#健康社会 24」をテーマに1年間取り組んだ。また、令和6年度は交流集会の枠を3題に増設し、演題も昨年度の応募者数84題より増加し応募96題中95題が採択された。その結果、会場開催およびWEB配信ともに円滑に運営することができた。参加者は第11回705名より735名に増加、アクセス件数は昨年度の775件から2,421件と急増したが、交流集会の参加人数が少ない時間帯もあり課題が残った。

アンケート結果をもとに運営課題を明確にしながら第13回も同様の開催形式で準備を進めている。

4. 課題・その他

昨今、WEBが日常的に活用され、今年度はオンデマンドによる再生回数が伸びた。その一方で、対面発表・参加のニーズも高まりつつある。そのため、次年度も同会場での開催に向けて会場の環境整備、一般演題の応募や学会参加者の促進を図る。